

公表 事業所における自己評価結果

事業所名		公表日		
しょうせい式児童発達支援・放課後等デイサービスぶりん 甲南山手		2026年1月30日		
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点・改善が必要と思われる点など
環境・体制整備	1 利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。			
	2 利用定員やこどもの状態等に対して、 職員の配置数は適切であるか。		○	支援を必要とする生徒に対して細やかなサポートができていない
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。		○	視覚支援が少なく、工夫がない
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。		○	清掃の徹底がより一層必要。おもちゃなど片付け方の指示が全てできていないため、伝えていく
	5 必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。		○	気持ちを落ち着かせる部屋がない。その場所を確保することが必要
業務改善	6 業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。		○	会議に皆で参加し徹底する。もしくは議事録を作成し全て記録し全員が読めるようにする
	7 保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。		○	保護者の意向を把握して業務改善に繋げていく
	8 職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。			ミーティングで徹底していく
	9 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		○	今の段階では全くない。将来どのようにするべきか考慮するべき
	10 職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内で研修を開催する機会が確保されているか。		○	早急に職員の質を高める研修の機会を徹底していく
適切な支援の提供	11 適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	○		各児童にあった教材の提供を心がけている。イベントなどはこれからさらに支援計画を行うべき
	12 個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。		○	今の段階では全くなされていない点。全員が意識を持ち、計画作成できるようにする
	13 放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。		○	全員の意識を向上し、子ども達の様子を記録として残す
	14 放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。		○	まだ不十分。計画きちんと作り、全員で計画に沿った支援をする
	15 こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。		○	問題を理解し、日々の行動観察をする
	16 放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。		○	全ての項目が網羅されていない
	17 活動プログラムの立案をチームで行っているか。		○	チーム全員が目的を振り返り、全てを次につなげていく
	18 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。			
	19 こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。		○	子どもの状況把握、計画作成が全て不十分